

分担研究報告書

亀田グループにおける乳がん患者のがん・生殖医療とRESPECT試験の実施状況について

研究分担者：川井清考 亀田総合病院 生殖医療科部長

研究要旨

亀田グループでは2007年からがん患者の妊孕性温存に取り組み、若年がん患者の将来の妊娠・出産の希望に対して、がん告知後の早い段階から妊孕性温存の情報提供を行い、患者が意思決定するための心理支援や妊孕性温存診療を提供できるように診療体制を整えている。平成30年度の乳がん患者のがん・生殖外来のデータを分析し、RESPECT試験を亀田グループ内で実施できるように倫理審査の承認を得、乳腺科への説明会を実施した。平成30年度に1例の同意を得て介入を行った。

研究協力者

福間 英祐	乳腺科	主任部長
越田 佳朋	乳腺科	部長
坂本 尚美	乳腺科	部長
角田 ゆう子	乳腺科	医長
寺岡 晃	乳腺科	医長
中川 梨恵	乳腺科	医長
大内 久美	不妊生殖科	医長
小石川 比良来	心療内科・精神科	部長
奈良 和子	臨床心理室	がん・生殖医療専門心理士
宮川 智子	臨床心理室	がん・生殖医療専門心理士
石川 恵	亀田IVFクリニック幕張	事務長
松崎 晃子	乳癌認定看護師	

A. 緒言

亀田グループでは2007年からがん患者の妊孕性温存に取り組み、若年がん患者の将来の妊娠・出産の希望に対して、がん告知後の早い段階から妊孕性温存の情報提供を行い、患者が意思決定するための心理支援や妊孕性温存診療を提供できるように診療体制を整えている。2016年に亀田IVFクリニック幕張が開業してから、院外のがん患者も、がん・生殖外来を利用できるよ

うになった。

亀田グループは、がん・生殖医療の啓発にも力を入れており、千葉県内のがん相談支援センターや近県の生殖医療施設との連携も積極的に行い、がん患者がアクセスしやすいように努めている。

B. 研究方法

亀田グループでは臨床心理士（以下、がん・生殖医療専門心理士）2名が窓口にな

り、妊孕性温存の情報提供及び意思決定支援、妊孕性温存診療への円滑な連携体制を整えている。平成30年度の乳がん患者の問い合わせ、及び、がん・生殖医療カウンセリングを実施した患者の分析を行い、RESPECT試験を開始する準備を行った。

C. 研究結果

平成30年度にがん・生殖外来に問い合わせ、及び、がん・生殖医療カウンセリングを実施した乳がん患者は22名であった。

その内訳は、既婚者が9名、未婚者が13名と、未婚者が多かった。平均年齢は、既婚者が39.9歳(30-50歳)、未婚者は37.5歳(30-46歳)であった。

がん・生殖医療への問い合わせ時期は、がん治療開始前の相談が20名、がん治療終了後の相談が2名であった。問い合わせのみが既婚者2名、がん・生殖医療カウンセリングを実施したのが既婚者7名、未婚者11名、がん・生殖医療カウンセリングのキャンセルが未婚者2名であった。

がん・生殖医療カウンセリングを実施した18名の妊孕性温存実施状況は、既婚者3名が受精卵凍結を行い、未婚者3名が未受精卵凍結、1名が受精卵凍結を行った。

また、RESPECT試験の実施については、平成31年1月11日に当院の臨床研究審査委員会に申請を行い、平成31年2月7日に倫理審査の承認(承認番号18-176)を得た。

1月24日に研究分担者である小泉智恵氏に依頼し、亀田総合病院乳腺科医局において、RESPECT試験の説明会を行った。2月14日には幕張クリニック乳腺科においても説明会を実施した。そして、3月7日に1例目の同意取得を得、無作為割り付けでAコースとなり2回の介入を行った。

D. 考察

今年度の乳がん患者のがん・生殖医療カウンセリングの実施は、未婚者の割合が多かった。未婚乳がん患者は仕事、経済的な事、パートナーの有無とその関係性、家族の意向について相談があり、それらが妊孕性温存を考える際の要因となっている事が伺えた。

E. 結論

未婚乳がん患者は、将来の未確定要素が多く、妊孕性温存の情報提供を受けると葛藤が強まる事が観察される。そのため、RESPECT試験のように2回の介入が有用だと言える。未婚乳がん患者は2回の介入により、乳がん治療と妊孕性温存の兼ね合いや、妊孕性温存をするかどうか、自分の将来について思いを巡らせ、よりよい自己決定が可能になると考えられる。

来年度は、よりリクルート体制を整え、症例獲得を行いたい。

G. 研究発表

1. 論文発表

川井清考、大内久美：「生殖補助医療(ARTの実際)」治療 南山堂 P424-428 2018

奈良和子、小泉智恵、吉田沙蘭、渡邊裕美、林美智子：【総説】「妊孕性温存における心理支援と心理職の役割」日本がん・生殖医療学会誌 Vol. 2. No. 1 P7-11 2019

2. 学会発表

宮川 智子、奈良 和子、小石川 比良来、川井 清考 総合病院におけるがん・生殖医療への取り組み 第23回千葉県総合病院精神科研究会@千葉 2018. 4. 14

奈良和子 がん・生殖医療における心理支

援 第 5 回京滋がん薬物療法懇話会 2018. 5. 25	(予定を含む。) 1. 特許取得 なし
奈良 和子、宮川 智子 がん相談支援セ ンター 相談員研修 妊孕性 がん相談支 援センター 相談員研修 (E ラーニング収 録) @東京 2018. 6. 22	2. 実用新案 なし 3. その他 なし
川井 清考 乳癌患者での妊孕性温存：卵 子・胚・卵巣組織凍結 関東産婦人科乳腺 医学会@東京 2018. 8. 5	
川井 清考 がんと妊娠 オンライン相談 の可能性を考える ジャパンキャンサーフ ォーラム@東京 2018. 8. 12	
奈良 和子 宮川 智子 若年がん患者の がん・生殖医療と心理支援 南関東 FRT 第 4 回研修会@東京 2018. 8. 25	
奈良和子 AYA 世代のいろは がんと妊孕 性 がん相談員としての支援は 地域相談 支援フォーラム@千葉 2018. 11. 10	
宮川智子 がん生殖医療に関わる心理士の 立場から 鎌倉保健福祉事務所研修会@神 奈川 2018. 11. 10	
宮川 智子、奈良 和子、小石川 比良来、 川井 清考 総合病院におけるがん・生殖 医療への心理士としての取り組み 第 31 回日本総合病院精神医学会@東京 2018. 11. 30-12. 1	
奈良和子 妊孕性 繋ぐ、そして支援する 千葉県がん診療連携協議会相談支援専門部 会 相談員研修会@千葉 2019. 3. 23	

H. 知的財産権の出願・登録状況